

エンパワーするNGO



年次報告書 2025

Annual Report



特集

中高 YWCA 全国カンファレンス

公益財団法人日本YWCA

プロフィール

YWCA（ワイ・ダブリュー・シー・エー / Young Women's Christian Association）は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。1855 年英国で始まり、今では日本を含む 100 以上の国・地域で活動しています。日本では、22 の地域 YWCA と 37 の中学・高等学校 YWCA が活動しています。女性や子どもや高齢者など、弱い立場におかれている人たちの本来の力を取り戻し、共に生きる世界を実現する人材を養成しています。

日本 YWCA のビジョン

女性がリーダーシップを発揮し、人権・平和・環境を大切にす社会

日本 YWCA のミッション

若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進めます

日本 YWCA のバリュー（大切にしている価値）

1. キリスト教基盤

すべての人は神の前に等しい価値をもつと信じ、常に弱い立場に置かれた者の側に立たれたイエス・キリストの生き方ならに倣って行動します。

2. 平和・環境

アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かします。すべての「核」を否定し、軍事基地を含む暴力のない公正で持続可能な社会をめざします。

3. 人権

人種・国籍・宗教・性・出自・年齢などの多様性を互いに尊重し、ジェンダー平等のもとで誰もが自分らしく生きることができる社会をつくれます。

4. セーフスペース

会員（ボランティア）が主体的にプログラムを推進し、すべての活動を、多世代協働によって民主的に運営します。常に誰にとっても安全安心な空間をつくり、誰もがエンパワーされる場とします。

目次

特集

中高 YWCA 全国カンファレンス	1
若い女性のリーダーシップ養成 ユース・エンパワメント事業部会	2
東日本大震災被災者支援活動 リフレッシュプログラム セカンドハウスプログラム com7300 基金	4
平和な社会をめざす活動 南京を考える旅	5
国際連帯・アドボカシー	6
日韓 YWCA カンファレンス 第 70 回国連女性の地位委員会 (CSW70) 報告 パレスチナへの連帯と支援 ミャンマー支援活動 ウクライナ支援活動 声明・賛同	
コラム	8
セーフスペース・カフェ ここ* LOCO	
2025 年度寄付報告 (2025 年 4 月～ 2026 年 3 月)	9

特集 中高 YWCA 全国カンファレンス

日程：2025年8月6日（水）～8月8日（金）

テーマ：「世界につながるいのちのチカラ—小さなわたしにできること：多様性・尊厳・希望」

場所：東京・国立オリンピック記念青少年総合センター

参加人数：計 187 名



「中高 YWCA 全国カンファレンス」は3年に一度、中高 YWCA に加盟する全国の学校から参加者が集い、交流と学びを共有する機会です。コロナ禍ではオンライン企画で実施しましたが、2025年は6年ぶりに対面開催を実現することができました。国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に、生徒と教員を合わせて144名、講師やリソースパーソン、ボランティア、職員を加えると総計187名が集いました。作家の深沢潮さんによる基調講演や、フィールドワークで学びを中心に据えたプログラムを通して、平和の実現に向け、「小さなわたし」にできることを共に考えました。

基調講演では、深沢さんご自身の被差別体験や、アイデンティティの悩みに触れつつ、自分と異なる立場の人々に想像力を持ち、思いをはせること、それが平和をつくる一歩になるとの力強いメッセージをいただきました。



また、フィールドワークは12グループに分かれ、戦争や被差別の歴史、人権や尊厳についてなど、各グループが出会いや体験を通して学ぶ機会を持ちました。フィールドワークで人間の尊厳について学んだ後、ある生徒は、「世界が開けたみたいで明るく感じます」と語っていました。若い世代にとって、出会いや体験学習がかけがえのないものであることを改めて感じています。

若い女性のリーダーシップ養成

ユースエンパワメント事業部会では、ジェンダー平等、人権、平和、環境を大切にしながら、ユースが自分らしく力を発揮し、社会に参画するための学びと実践の機会を提供しています。

オンラインユースギャザリング

「YWCA/YMCA メンバーによる国際プログラム体験談」

日程：2025年11月22日（土）16:00～17:30

開催方法：オンライン（Zoom）

参加人数：13名

8月に韓国で開催された国際プログラム「第2回アジア・太平洋クリスチャンユースアッセンブリー」に参加したYWCAとYMCAのユース4名が、韓国・インド・オーストラリアなど17カ国のユースとの交流体験を紹介しました。



終わりにみんなで集合写真

後半は自身の国際交流体験について、口頭・チャットなど参加者それぞれに合ったスタイルで共有し、セーフスペースを保ちながら交流しました。

今回は中高生の参加者数が過去最多となり、ユース世代の参加が大きく広がる機会となりました。

インスタライブ「アルテイシアさんと “ジェンダーのもやもや”おしゃべり会」

日程：2026年1月15日（木）20:00～21:00

開催方法：オンライン（インスタグラムライブ配信）

参加人数：約40名

作家のアルテイシアさんをゲストに迎え、日本YWCAからユースエンパワメント事業部担当職員2名が出演し、日本YWCAとして初めてのインスタライブを開催しました。



アルテイシアさん（上）と出演した担当職員（下）



「政治やフェミニズムの語りづらさ」「下着広告における女性の身体表現への違和感」などのジェンダーに関する問題について話し合いました。

アルテイシアさんのフェミニズムの視点や海外での事例を比較することにより、ジェンダー課題への理解が深まり、これまでの考え方やものの見方が変わるような内容を届けることができました。

日本 YWCA ×大阪 YWCA 共催 若い女性のためのジェンダー講座「あれもジェンダー？これもジェンダー！ 無意識の縛りから自由になる」

日程：2026年2月21日（土）～22日（日）

場所：大阪 YWCA 梅田（大阪府大阪市）

参加人数：ジェンダー講座（30歳以下）8名、公開講座（年齢制限なし・ハイブリッド形式）22名

大阪 YWCA と共催し 2 日間のプログラムを開催、のべ 8 名のユースが共に学び、話し合い、発信ツールを制作しました。

公開講座では作家のアルテイシアさんを講師に招き、ジェンダーについてユーモアを交えながら教えていただきました。

講座の後は、「ベビー服の色といえば、男の子は青、女の子はピンクだ」というなどのジェンダーバイアスをどうしたら払いのけられるのか考え、「小冊子」と「すごろく」を作成。限られた時間だったにも関わらず、初対面



アルテイシアさんと一緒に

とは思えないユースのチームワークで、素晴らしいツールが完成しました。

発信ツールは日本 YWCA のウェブサイトや SNS でご覧いただけます。



作成した小冊子（左）とすごろく

https://www.ywca.or.jp/news/humanrights/gender/260221_gendereventreport/

東日本大震災被災者支援活動

2011年3月のあの日生まれた子どもたちが20歳になるまで支援を続けると決意し、「com7300」（com = 共に 7300 = 20年間の日数）を合言葉に、東日本大震災被災者支援をおこなっています。

com7300 基金

2025年度はこれまで日本国内外から寄せられた寄付をもとに「com7300 基金」を創設、運用を開始し、志を同じくする他団体の活動にも補助の対象を広げました。「核」否定の思想（*）の具現化と、災害対応および被災者支援を行う団体・個人の活動や研究を応援します。

「核」否定の思想の具現化のためのプログラム補助



蟻塚亮二医師によるトーク

◆朗読紙芝居劇『ごめんなさい、ずっと嘘をついてきました』上映会と講演会

日程：① 2025年11月29日 ② 11月30日

主催・場所：①神戸 YWCA ②呉 YWCA

◆『生きて、生きて、生きる。』上映会と蟻塚亮二医師のトーク

日程：2026年1月24日 ① 10:00 ② 14:00（各回3時間）

主催・場所：仙台 YWCA

（*）核兵器の開発のみならず、原子力を含む核の利用に反対する立場

リフレッシュプログラム

各地のYWCAで行う保養プログラムを応援。発災当初から継続している、熊本YWCA主催のプログラムを資金面で補助しました。

福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプ2026

日程：2026年3月26日～2026年3月30日

（4泊5日）

場所：立神峡キャンプ場

（熊本県八代郡氷川町立神 648-4）

参加人数：福島から11名、熊本から8名



セカンドハウスプログラム

被災した地域を離れて心身を休養することを目的に、家族単位で利用できる家を提供。2025年度も、学校の長期休みの期間に神戸YWCAがセカンドハウスを提供し、日本YWCAが交通費を補助しました。

利用者数：3家族9名



福島&熊本キッズ春のわくわくキャンプ

平和な社会をめざす活動

日本 YWCA は、アジア・太平洋戦争の反省から生まれた平和憲法を活かし、暴力のない、公正で持続可能な社会をめざすための活動を行っています。

南京を考える旅

日程:2025 年 9 月 21 日 (日) ~ 25 日 (木)
場所:中国南京市
テーマ:平和はぬくもりと希望を伝える
参加人数:40 名

日中各地からのユースを含む参加者が、美しい古都南京の街で出会い、同じ場所で同じ時間を過ごしながら、講義やフィールドワークを通じて南京大虐殺という負の歴史と向き合い、そこから感じたことを共有し、同じ過ちを二度と繰り返さないために、自分たちに何ができるのかを語り合う旅。敗戦 80 年の節目の年となった 2025 年のプログラムは、ユースによる平和アート展、一緒に音楽を作る時間、そして南京の YWCA が運営する社会サービス施設の見学などの取り組みを盛り込み、新たな出会いと関係性をも築く時間になりました。



侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館にて

参加者の声:

「学び続けること、活動を続けることが「活かすこと」なのではと思っています。この旅だけで学びは完結しません。この旅に行ったことで中日の歴史と現在について学びたいという思いが、より強くなりました。」



ユースによる平和アート展

詳しい報告は、日本 YWCA ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.ywca.or.jp/news/peace/nanjing2025report/>



閉会イベントの様子



文化交流

国際連帯・アドボカシー

日韓 YWCA カンファレンス

日程：2025年7月20日（日）～7月23日（水）
場所：湘南国際村センター（神奈川県逗子市）
テーマ：YWCA が提供できる若い女性のためのセーフスペースとは？～人権・平和・居場所～
参加人数：25名（韓国側8名・日本側17名）



横浜 YWCA にて



川崎市桜本地区でのフィールドワーク

第12回「日韓 YWCA カンファレンス」を開催。光復・敗戦80年を迎え、若い女性をエンパワーし社会変革を進める使命のもと、日韓協働で共通の課題に向き合い、セーフスペースを創っていくことを約束しました。

第70回国連女性の地位委員会（CSW70）

日程：2026年3月7日（土）～15日（日）
場所：米国・ニューヨーク市

毎年3月、国連本部で開催される国連女性の地位委員会（UN Commission on the Status of Women）は、各国政府代表者が世界中の性差別の課題と必要な



各国 YWCA からの参加者でミーティング

行動を協議・決議する場であると同時に、世界中の NGO から参加者が集う場です。今年の CSW70 には日本 YWCA のスタッフ2名が参加し、沖縄の米軍基地問題にかかわる女性たちの置かれている状況について、報告や情報発信を行いました。



CSW 開会・国際女性デー記念イベント



日本 YWCA スタッフと現地参加のユース。おそろいの T シャツはコロンビアスポーツウェアジャパンより寄贈いただきました。

支援先からの報告

パレスチナへの連帯と支援

パレスチナ YWCA は、ヨルダン川西岸地区の難民キャンプで幼稚園を運営し、占領下で生きる子どもたちが学び育つ場をつくり続けています。また、日本 YWCA が支援する「オリーブの木キャンペーン」では、イスラエル軍や入植者に脅かされるパレスチナの農家に 4,000 円で 1 本の木を贈ることができます。2025 年度は 234 本の木を寄贈しました。



パレスチナ支援



オリーブの木
キャンペーン



2025 年 11 月、
 Beit・サフル村周辺での
 オリーブ収穫の様子

ミャンマー支援

ミャンマー YWCA

2025 年 4 月、洪水の被害を大きく受けたシャン州南部の地域で計 100 世帯に対して米・食用油・卵など生活に欠かせない食料を配布しました。



ビルマ・プラットフォーム

日本 YWCA が参加する「ビルマ・プラットフォーム」は、ミャンマーで持続可能な農業・教育・医療支援に取り組む市民グループを支援しています。子どもたちを空爆危険地域から避難させ安全な場所で学べるように農場で校舎や寮の建設を進めています。



ビルマ・プラット
フォーム



ミャンマー
YWCA 支援

ウクライナ支援

ウクライナでは、軍事攻撃に加え物価の高騰により生存が脅かされ、電力・暖房・水の不足が続いた厳しい冬により、多くの人が心身に打撃を受けています。

医師たちによると、受診した女性の 45% が糖尿病・脂肪肝・甲状腺疾患の初期症状を示し、メンタルヘルスの調査では、ほとんど

の女性が心理療法や恐怖心へのケアを求めています。ウクライナ YWCA は 2025 年も現地の団体と連携し、女性や子ども、高齢者に生活必需品や心理的ケアを提供しました。



ウクライナ YWCA が支援する女性たち



ウクライナ支援

声明・賛同

- 「給特法等改正法案に対する緊急声明（院内集会）— 外国籍教員は “蚊帳の外、—」（外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会）」に賛同（4/5）
- 「教育勅語を引用した研修資料による広島市職員研修をしないことを求める要請書」に賛同（4/5）
- イスラエルおよびアメリカ合衆国によるイラン核施設への攻撃に強く抗議する声明（7/4）
- 「排外主義の煽動に反対する NGO 緊急共同声明」に賛同（7/7）
- 「第 13 回世界日本軍『慰安婦』メモリアル・デー 世界共同アクション」に賛同（8/14）
- 敗戦 80 年の節目にあたって（8/15）
- 「ガザ地区における「飢饉」の発生に関する声明」に賛同（8/25）
- NGO 共同声明「停戦を、食料を、今すぐに」に賛同（9/29）
- 米国によるベネズエラへの軍事行動と政治的介入に抗議し、国際法の遵守を求めます（1/9）
- オンライン署名「孤立死産したベトナム人技能実習生グエットさんの無罪判決を求めます！」呼びかけ団体に参加（1/10）
- 「ヘイトに NO！全国キャンペーン」に賛同（2/11）
- 「ウィメンズマーチ東京」に賛同（2/27）
- 米国とイスラエルによるイランへの軍事攻撃に抗議し即時停止を求めます（3/3）
- 「NO WAR / 戦争反対」インスタグラムアクションに賛同（3/23）
- 「イラン攻撃の即時停止に向けた外交努力を求める要請」に賛同（3/25）

コラム セーフスペース・カフェ「ここ＊ LOCO」



手しごとワークショップのための毛糸玉

2025年11月よりYWCA平塚会館を拠点に、「神奈川県困難な問題を抱える女性に対する通所型支援事業」がスタート、「セーフスペース・カフェ ここ＊ LOCO」の活動が始まりました。

「セーフスペース・カフェ ここ＊ LOCO」という事業所名は、エスペラント語からヒントを得ており、「ここがあなたの居場所になりますように」という願いが込められています。生活の中で様々な生きづらさやもやもやを抱えた女性たちが、ホッと一息つく場所となれるよう目指して活動しています。

開始当初は週2回でしたが、利用者の増加に伴い、2026年4月からは週3回で実施し、10代から80代の方が利用しています。日常的にはのんびり過ごしてお茶や会話を楽しむほか、気軽に生活や健康について相談できる場所として開放しています。また、多彩な講師が協力してくださり、「ヨガ」や「リンパケア」、「タッピングタッチ」、「レジリエンス～こころのcare講座」などのプログラムも定期開催することができ、参加者が心身を見つめ直す機会となっています。

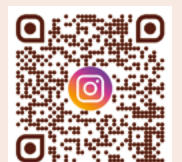


ある日のここ＊ LOCO ランチ

ここ＊ LOCO では、さまざまな形のご寄付により利用者の日常が支えられています。株式会社ノジマからは冷蔵庫や洗濯機を寄贈いただきました。また、特定非営利活動法人フードバンク湘南および公益社団法人フードバンクかながわから毎月食品の提供をいただき、フードドライブに加え、全ての開所日に食事を提供することができます。キッチンスタッフによる手づくりの温かいごはんが、心身共に利用者を支えています。

多岐にわたるご支援に恵まれ、2026年度も活動を継続できることになりました。心より感謝申し上げます。

セーフスペース・カフェ「ここ＊ LOCO」の詳しい情報は、Instagramで発信しています。ぜひフォローをお願いいたします！



2025 年度 寄付報告

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

2025 年度も多く皆さまからのご支援・ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

日本 YWCA は、今後も平和で誰もが尊重される社会に向けた、女性たちの主体的な活動を支援していきます。

代表理事 藤谷 佐斗子

会長 樋口 さやか

募金の種類と寄付の報告

日本 YWCA 賛助費	1,110,000 円	日本 YWCA の活動全般を支えます。 一口（年額）：3,000 円 / 5,000 円 / 10,000 円
ピースメーカーズ募金	3,923,721 円	平和を創り出す女性のリーダーシップ養成活動に 用います。
東日本大震災被災者支援募金	798,331 円	被災地の女性と子どもたちを支援する活動に用います。
ユースエンパワメント基金	302,200 円	ユースエンパワメントのための助成に用います。
災害時支援募金	336,495 円	国内外の緊急支援活動に用います。
オリーブの木キャンペーン募金	978,400 円	一口 4,000 円で、オリーブの木 1 本をパレスチナに 植えます。寄付者には証明書が発行され、植樹された 場所に寄付者の名前入りプレートを置きますので、 お名前のローマ字表記をお知らせください。
パレスチナ YWCA 支援募金	2,390,792 円	パレスチナ YWCA が難民キャンプで運営する幼稚園 の支援に用います。
ウクライナ支援募金	1,135,437 円	現地の女性や子どもたちへの経済的・心理的支援活動 に用います。
ビルマ / ミャンマー支援募金	701,670 円	平和を目指す現地の市民活動を支援します。
セーフスペース・カフェ ここ* LOCO への活動支援	15,000 円	平塚 YWCA で実施している「神奈川県困難な問題を抱 える女性に対する通所型支援事業」の活動を支援します。

合計 11,692,046 円

「平和を実現する人々」を支える「ピースメーカーズ募金」にご協力ください

日本 YWCA は「平和を実現する人々は幸いである」をテーマに、一人ひとりがピースメーカーとして平和を実現するための活動をおこなっています。平和の実現のための活動と未来のピースメーカーズのためのリーダーシップ養成にご協力をお願いいたします。

ピースメーカーズ募金について詳しく読む
<https://www.ywca.or.jp/getinvolved/peacemakers/>



募金方法

日本YWCAへの募金 / 寄付金（賛助費を含む）は、税額控除の対象になります。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。 <https://www.ywca.or.jp/getinvolved/#taxbenefits>



銀行振込 三井住友銀行 飯田橋支店 普通預金 1198743
(口座名義) 公益財団法人日本YWCA
ゆうちょ銀行 〇一九支店 当座預金 23723
(口座名義) 公益財団法人日本YWCA

郵便振替 00170-7-23723
(加入者名) 公益財団法人日本YWCA

メールで（郵便振替は通信欄で）
①募金の種類 ②ご住所 ③お名前、
オリーブの木キャンペーン募金の
場合は ④お名前のローマ字表記も
併せてお知らせください（税額控
除の書類・オリーブの木証明書
を送ります）。

クレジットカードで募金

QRコードからアクセスし、クレジットカード決済フォームでご寄付いただけます。

クレジットカードで募金する <https://www.ywca.or.jp/getinvolved/donate/>



賛助員になってください！

「賛助員」は、ファンドでYWCAの活動を支えることができるサポーターです。

女性だけに限りません。詳しくは日本YWCAウェブサイト「会員・賛助員」をご覧ください。

<https://www.ywca.or.jp/getinvolved/member/>



日本YWCAの広報媒体

SNS



LINE ユース
コミュニティ



機関紙『YWCA』

<https://www.ywca.or.jp/category/japanywcabulletin/>



発行

公益財団法人日本YWCA

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京YWCA会館 302号室

TEL : 03-3292-6121 FAX : 03-3292-6122

メール : office-japan@ywca.or.jp ウェブサイト : <https://www.ywca.or.jp>

10分でYWCAに詳しくなるメルマガ「Y-net (ワイネット)」
毎週金曜日に注目のイベント情報やお知らせを配信しています。
ウェブサイトトップページから登録してください！

